

令和3年度第6回国立市立学校給食センター運営審議会

令和4年6月23日

会場： 国立市立学校第一給食センター大会議室

日時： 令和4年6月23日（木）午後2時から午後3時30分まで

出席委員：黒田委員、秋山委員、河合委員、匂坂委員、後藤委員、中井委員、吉野委員、村上委員、播磨委員、久保委員、矢田部委員、矢澤委員、小野委員、小林委員、七条委員、里道委員、牛島委員（17名）

事務局：土方給食センター所長、青木主査、宮本主査、岩田主任

【黒田会長】 定刻前ではございますが、御参加の皆様、おそろいになりましたので始めさせていただきますと思います。

ただいまより令和3年度第6回国立市立学校給食センター運営審議会を開始いたします。

改めまして、本日はお忙しい中、御出席をいただきましてありがとうございます。本日の出欠席の状況ですが、学識経験者で東京都多摩立川保健所の垣委員から欠席の連絡をいただいております。また、第五小学校の保護者代表である村上委員から遅参する旨の連絡をいただいておりますが、間に合って、おいでいただいたようです。大変ありがとうございます。

それでは、まず初めに資料の確認をしたいと思います。事務局よりお願いいたします。

【事務局】 それでは、議事に先立ちまして資料の確認をお願いいたします。事前に郵送いたしました運営審議会次第、資料1-1の「令和3年度事業報告」、資料1-2から1-5で「学校給食食材等の放射性物質の測定検査および産地について」、資料2として「令和3年度学校給食費決算報告書」、資料3で「令和3年度事業総括」となります。過不足等ございますでしょうか。

ありがとうございます。以上です。

【黒田会長】 ありがとうございます。

それでは、本日の議題は3本予定をされております。順番に従いまして、議題のほうを進めさせていただきます。

まず初めに、(1) 事業報告についてを議題といたします。事務局から報告をお願いいたします。

【事務局】 それでは、事業報告につきまして御説明いたします。資料番号1-1を御覧

ください。

令和4年2月24日の第5回運営審議会以降、本日6月23日までの4か月分の事業報告をさせていただきます。

主なものですが、2月28日、ウェブ開催の形で多摩地区共同調理場連絡協議会献立研究部会が開催されました。

3月16日、中学校全3校を対象に、エコール辻東京とのコラボ給食として、進級・卒業を踏まえてボルシチの材料であるビーツを使ったお祝いクッキーを提供いたしました。当日は、このクッキーを考案し調理してくださったエコールの学生さんやエコール教職員の方々、私所長も含め当給食センター栄養士などが第一中学校にお邪魔して、センター栄養士が各クラスを回り、実物のビーツをお見せして説明したり、エコール製作によるこのクッキーを作成した想いや製造工程の動画を放映しました。また、エコール学生さんと生徒さんとの交流の場を設けたりいたしまして、大変有意義なイベントであったと感じたところでございます。今年度以降も引き続き、小学校も含めた形で市内のレストランやシェフ・調理関連の学校、地元の食品関連事業者などとのコラボ給食を企画してまいります。

23日に3学期の小学校給食、24日に中学校給食が終了いたしました。新年度につきましては、4月8日に小学校、翌週の11日に中学校の給食を開始しております。

4月18日の第二中学校3年2組の給食で、豚汁にビニール片が混入してしまいました。給食センターで確認いたしました。豚汁を調理する際に使用したみその包装袋であることが判明いたしました。センター内で調理する際に、開封した切れ端が料理に混ざってしまったものと思われます。袋を開封して使用する食材等がある場合には、開封時注意などの声かけを実施し、全てを切り離さず一部残すように指導しており、また万が一切れ端が出た場合には、もう一片と付け合わせるなどの作業を指示していたところではあります。このような事態となってしまいました。この事態を受け、事故発覚直後に調理担当者全員に再発の防止について指導いたしました。

また、28日には第二小学校2年3組の給食で、白飯に太さ100分の1ミリ程度、長さ7センチ程度のごく細い繊維状のものが混入してしまいました。当方で確認いたしました。異物の特定には至りませんでした。この日は暑く、調理場内で扇風機を使用していたことから、空気中に舞ったものが混入した可能性も考えられるため、調理場内の清掃の徹底とさらなる衛生管理や衛生意識の向上を図るなど、指導を徹底いたしました。

5月18日には、第七小学校4年2組の給食で、チーズオムレツに全長1ミリ程度の小虫

が混入してしまいました。こちらについても、当方で確認いたしました。昆虫の種類の特
定には至りませんでした。混入経路につきましては、納品時、調理・配膳過程等のどの段階
で混入したか確定できませんが、何らかの調理過程の段階、例えばスチームコンベクション
オーブンを使用するに当たってホテルパンにチーズオムレツを並べた際などで付着してい
た等の可能性も考えられるため、さらなる衛生管理や衛生意識の向上を図るなど指導を徹
底いたしましたところでございます。

以上、御報告した3件の異物混入事件につきましては、1学期が始まって1か月余りで立
て続けに起こったことを大変重く受け止め、調理員一同を集め、私のほうからチェック体制
の厳格化や再度衛生管理への意識をしっかりと自覚すること、また今回の事件はあつてはな
らないことで、児童生徒、保護者の方々をはじめ学校関係者と給食センターの信頼関係を大
きく揺るがし、多大な悪影響を及ぼす結果となることを、再発防止に努めることも含めまし
てきつく注意いたしました。反省と自戒の念を込めますので、どうか御理解のほど何とぞよ
ろしくお願い申し上げます。

日にちが過ぎまして、4月28日に多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会総会及び場
長会が稲城市で開催され、国立市から私所長が出席いたしました。

5月20日には、多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会管理運営研究部会が稲城市で
開催され、国立市から事務主査と栄養士主査が出席いたしました。

6月3日、多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会献立研究部会が府中市で開催され、国
立市から栄養士3名が出席いたしました。

16日には、学校給食費決算について監査員に監査をしていただきましたので、後ほど監
査の報告をしていただきます。

最後に、本日第6回の運営審議会という経過でございます。

以上、主なものについて報告させていただきました。

続きまして、資料番号1-2から1-5でございますが、給食センターでの放射性物質の
測定結果については、2月から5月までの給食実施日の飲用牛乳、飲用牛乳を除いた小・中
学校の提供給食を測定し、いずれも検出限界値にて不検出との結果でございました。

外部検査機関による放射能測定の結果につきましては、資料のとおりでございます。また、
3月から6月使用分の給食物資の予定産地と地場野菜の使用予定日も同資料に記載してご
ざいます。

報告については以上でございます。よろしくお願いたします。

【黒田会長】 報告が終わりました。御質問や御意見がありましたらお願いいたします。
久保委員、お願いいたします。

【久保委員】 国立第七小学校の久保です。よろしく申し上げます。

いつも給食を作っていただいております。今回質問させていただきたいのが異物の混入に関してなんですけれども、立て続けに起きたということで今お話ししたいんですが、いずれについてもというか、みそのビニール袋のあれが入ったということ以外は、こう言っては何ですけれども給食センターの老朽化が原因というところが大きいのかなと思うんですね。例えば扇風機の繊維であったりとか、虫についてはどこで入ったのかも分からないので、新しいセンターになってこういうことは減るというふうに見ておられるでしょうか。

【黒田会長】 どうぞ、申し上げます。

【事務局】 確かに、ちょっと言い訳がましくなってしまうんですが、給食センターは見えていただいたとおり半分外と言ったらおかしいんですけれども、シャッターによって開閉をやっていますので、午前中、調理の段階ではできるだけ閉めております。暑いんですけれども、寸前まで開けないようにしています。ただ、午後に関しては、回収便がよく来ますので、シャッターを全部開けて回収をする形になりますので、その段階で虫とか、ちりみたいなものもそうかもしれないんですけれども、入る可能性は大きいかと思えます。

新しい給食センターは完全に部屋に密封されており、ドックシェルターという入り口専用のシャッターがつきますので、まずこういうことは起こらないということは言えるかなとは思っております。

以上です。

【黒田会長】 ありがとうございます。

よろしいですか。

そのほかに、御質問や御意見はございますでしょうか。

中井委員、お願いいたします。

【中井委員】 三小の中井です。いつもありがとうございます。

今ありましたように、給食センターの老朽化も原因だとは思うんですけれども、去年とかその前とか、1年間でそこまでは変わらないと思うんですが、去年とかの段階でこういうことが4月に立て続けに起こっていたのか。起こっていなかったんだったら、何で今年起きたのかというのも調べるべきなのかなとは思いました。例えば4月なので、新しい人が増えた

から開封の作業が伝わってなくて入ってしまったとかもありますし、例えば夏だから虫も来ますし、夏だから扇風機を回して糸も入ってしまうということもあるとは思うんですね。原因がどこにあるというふうにお考えだったのかなど。季節なのか、人間的なものなのか、給食センターの老朽的なものなのか、ちょっとお考えをお教えいただければと思います。

【黒田会長】 事務局よりお願いします。

【事務局】 確かに4月ということで、重なってしまった部分はあったんですが、例えばビニール片の混入事件というのはおとしですかね、過去にもございました。ですので、初めてではなかったということでもあります。

人間的なものに関しましては、確かに新しく新人で入られた方が数名いるんですけども、ほぼ給食センターの方というのは長く勤めていらっしゃる、なかなか辞める方はいらっしゃらないので、新しい方が入って、それが原因だということは考えにくいかなと思っております。

あとは、先ほど申し上げた老朽化の部分も含めてですけれども、施設の部分で今、部屋ではなくてシャッターによって区画されているような給食センターは珍しい状況になっておりますので、その部分は新しい給食センターでは完全になくなるかなと思っております。

4月に重なったというのは、私もなぜ4月なのか、年間を通じては当然異物混入というのはあるんですけども、今年に限ってそれが4月に続いてしまったというので、別に4月から毎年多いというわけでも確かにないんですが、偶然と言ったら何なんですけれども、年間あることが4月に重なってしまったという、結果という部分ではそういう形になるかと思っております。答えになっているかどうか分からないんですけども、申し訳ございません。

【中井委員】 ありがとうございます。

【黒田会長】 そのほか、御意見、御質問等はございますでしょうか。よろしいですか。

特にないようですので、次に移りたいと思います。

議題の(2)になります。令和3年度学校給食費決算報告についてを議題といたします。事務局から報告をお願いします。

【事務局】 それでは、令和3年度学校給食費決算につきまして、資料2により御報告させていただきます。

まず、1ページでございます。

収入の部ですが、給食費は、調定額2億5,127万359円に対し、収入額は2億4,196万4,316円、未収入額は842万3,461円で、収納率といたしましては96.3

0%でございます。なお、不納欠損額につきましては88万2,582円でございます。

給食費の内訳ですが、令和3年度の現年度給食費といたしまして、調定額が2億4,251万4,176円に対して収入額が2億4,116万5,991円、未収入額は134万8,185円で、収納率は99.44%でございます。

令和2年度以前の過年度給食費といたしましては、調定額が875万6,183円に対し、不納欠損額が88万2,582円、収入額が79万8,325円、未収入額が707万5,276円で、収納率につきましては9.12%でございます。

前年度繰越金が1,009万1,736円、最後の雑入が預金利子、廃油売却収入で6万6,876円となります。

収入額の合計といたしましては、2億6,142万8,971円でございます。

下段左の支出ですが、主食購入代としまして3,203万3,891円、副食購入代としまして1億5,526万5,041円、牛乳購入代として5,213万3,224円、調味料購入代としまして791万3,979円で、合計額は2億4,734万6,135円でございます。

右側の表ですが、収入合計から支出合計を差し引いた残額は477万6,793円になりますが、この残額を令和4年度に繰越すものでございます。

続きまして2ページでございますが、2ページ以降につきましては、1ページで説明いたしました内容の補足資料となっております。2ページ、3ページにつきましては、1ページで説明しました現年度給食費の収入における調定額、収入額、未収入額、支出額等を、それぞれ小学校・中学校別、月別で示しております。2ページが小学校で、3ページが中学校でございます。さらに、喫食者数を添えてございます。

続きまして、4ページでございます。1ページで御説明いたしました物資購入代の支出に係る小学校における月別の内訳を示したもので、さらに主食と副食について細分類しております。

続きまして、5ページでございます。同様に、中学校における物資代金の月別の内訳を示しております。

続きまして、6ページでございます。1ページで説明いたしました過年度給食費の収入と不納欠損額の対象年度等を示したもので、不納欠損につきましては、収入がなく10年を超えたものは表上、平成23年度分の88万2,582円が該当いたします。

また、収入合計額内訳といたしましては、小学校分が38万3,063円で、中学校が41万5,262円、収納率といたしましては9.12%でございます。

続きまして7ページでございますが、不納欠損処分について御説明した文書となります。

この資料にありますように、平成23年度から令和2年度までの給食費の未納額といたしましては248件、795万7,858円でございます。これまでも、文書や電話による催告、個別徴収などを行っておりますが、連絡が取れないなど、徴収自体が困難な状況にあります。これらの給食費の未納者に対しましては、平成2年の国立市立学校給食センター運営審議会の審議の結果をいただきまして、納入がなく10年を超えた者、及び5年を超えて市外に転出した者については不納欠損処分を行うということで確認されております。この確認に基づきまして、27件、88万2,582円を不納欠損処分したということでございます。

続きまして、8ページでございます。今お話ししました過年度給食費の未納額を小中学校及び年度別に示したもので、上段が人数で下段が金額でございます。

続きまして9ページでございますが、不納欠損の対象者ということで、左側の表が10年を経過した者、右側が5年経過で市外に移転した者の一覧表でございます。10年経過者は27名、5年経過で市外に移転した者は該当者ゼロとなっております。なお、名前につきましては英字に置き換えておりまして、同英字のハイフン1、2とありますのは兄弟などの関係を示しているものであります。

続きまして、10ページでございます。1ページで御説明いたしました令和3年度給食費未納額内訳で、小中学校ごとの世帯数、人数、月数、未納額に整理したものでございます。47世帯54名、305月相当分の133万7,368円が未納額でございます。

続きまして、11ページでございます。それぞれの項目における前年度との比較の資料となります。

現年度給食費収納率といたしましては99.44%で、令和2年度より0.15ポイント上昇いたしました。過年度給食費収納率といたしましては9.12%で、令和2年度より2.34ポイント低下いたしました。現年度、過年度を合わせた収納率は96.30%となり、令和2年度との比較においては0.51ポイントの大幅な増加となっております。また、この収納率は、昨年度を更新して、過去10年の比較において最も高い値となっております。

未収入ですが、合計額は令和2年度と比べ33万2,722円減の842万3,461円でございます。

次のページにつきましては、去る6月16日に行っていただきました監査報告書を添付

しております。

報告につきましては以上でございます。

【黒田会長】 報告が終わりました。御質問等がある場合は、監査員の監査報告を受けてから伺いたいと思います。それでは、第二小学校の後藤委員と第三小学校の中井委員、よろしく願いいたします。

【後藤委員】 それでは、監査報告をいたします。監査報告書を御覧ください。

監査は、6月16日木曜日、午前10時頃から、第一給食センター会議室で行いました。監査の内容は、令和3年度の学校給食費の収支書類と証拠書類を監査したもので、監査の結果はここにありまして令和3年度の学校給食費収支状況について帳簿及び預金通帳等を照合した結果、適正に処理されていることを認めます。令和4年6月23日、国立市立学校給食センター運営審議会、監査員後藤、監査員中井。

以上です。

【黒田会長】 監査員のお二人には、大変お忙しい中、帳簿や関係書類について監査をしていただきありがとうございました。

それでは、御質問や御意見がありましたらお願いいたします。

矢澤委員、お願いいたします。

【矢澤委員】 一中の矢澤です。よろしくお願いいたします。令和3年度の給食費未納額の内訳のところ、未納の理由については、給食センターのほうからそういうものの聞き取りなどはされるのでしょうか。

【黒田会長】 事務局、お願いいたします。

【事務局】 個別具体的に未納の方に対して直接聞くことはしておりませんというか、当然督促や催告書、最終催告書、あるいは来所指示書を出して納付を促す、あるいは来ていただくことを促すということはしているのですが、そういう通知には反応せず、こちらでも連絡が取れずという形なので、実際にどういう状況で未納に至っているのかというのは把握してございません。

【矢澤委員】 ありがとうございます。

【黒田会長】 ほかに、ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、特にございませんので次に進めさせていただきます。

続きまして、議題の(3)令和3年度の事業総括についてを議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】 それでは、令和3年度の事業総括につきまして、前年度の違いなど、ポイントを絞って御報告いたします。

1、食の安全安心の確保の(1)、④地場野菜の使用率につきましては、18.23%と、令和2年度と比べまして0.63ポイントの微増となっております。令和5年度第2学期の新学校給食センター開設を鑑み、国立市の第2次基本計画の目標値である20%以上を念頭に、今年度は提供していただける農家さんの新規開拓に向けて道筋をつけるべく努力してまいります。

(3) 給食の充実につきましては、③米飯給食の提供につきまして、令和2年度とほぼ同じ週3回以上を満たしており、目標を達しておりました。また、⑤、⑥、⑦につきましては、去る2月24日の第5回運営審議会において令和4年度事業計画を御説明した際に細かい内容について触れさせていただいておりますので、この場では割愛いたしますが、国立市の地域性や独自性を踏まえたものであると考えておりますので、今回より加筆いたしました。

(4) 食物アレルギーへの対応につきましては、令和2年度に引き続きまして、徐々にですが年々カルテの提供などの対応者が増えてきている傾向がございます。

おめくりいただいて、最後に令和4年度の課題でございますが、施設・設備の急激な老朽化が進んでいる現状ではあります。いつ起きてもおかしくない故障等のトラブル発生を念頭に、日々のメンテナンスに留意して、残り1年余を安心安全な給食の提供に支障が生じないよう細心の注意をもって努めてまいります。

令和3年度の事業総括につきましては、以上でございます。よろしく願いいたします。

【黒田会長】 説明が終わりました。御質問や御意見がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

特にないようですので、次に移らせていただきます。

議題の(4)、最後にその他ですけれども、委員の皆様から何かありますでしょうか。

七条委員、お願いいたします。

【七条委員】 3年度は、今日で最後ですよ。僕は長年やっているんで、必ず給食費の未納の話が出てくるんですけども、未納にされる方ってそれなりの理由があると思うんですね。実際に今、景気が、これだけ給料が上がらないで、本当になかなか大変な時代だと思います。突拍子もないことかもしれないけれども、今まで給食費を無償化するということ、給食審議会は全然そういう場じゃないからあれなのかもしれないですが、そういうのを検討することはできないんでしょうか。

というのは、先ほど僕、ホームページの令和4年度の一般会計を見ていたんですけども、学校給食費が3億5,000万ぐらいかな、歳出のところで書いてあったんですが、国立の一般会計の、忘れたけれども大体6%ぐらいを給食費が占めている。その6%をどこから捻出するかというのはまた難しい問題かもしれないけれども、全額負担じゃなくても半分でもいいかもしれないし、医療費もかなり無償化されてきている時代に、給食というのも食育の問題であったりとても大事な問題であって、給食費を払えない人を救済する制度はたしかあったと思って今調べたんですが、そういう制度もなかなか利用しづらい人もいるかもしれない。なので、いっそのこと、そういうことを検討する場をもし持てるようであれば、給食センター運営審議会が全然そういうものに当たらなければまた別かもしれないけれども、何か議会で提案が出たりとか、その辺はどうなんでしょうか。市のほうとして、ありますでしょうか。

【黒田会長】 事務局よりお願いいたします。

【事務局】 今お話しいただきました給食費の無償化につきましては、実際のところ昨今、議会でも質問が出たり、あるいはあしたちょうど最終本会議がございまして、そこで給食費の補正予算を出しております。即日の採決になるので、あした一斉に議員の方が質問される予定になっていまして、複数名の方が事前にうちのほうに質問通告をされていますが、その中には当然無償化の話の方もいらっしゃいます。

今お答えできる範囲の中なんですけど、これは私の判断というか、別に市長の判断というわけではないんですけど、給食費の無償化というのは、例えば今の生活困窮者の方とか生活弱者の方に関しましては、例えば生活保護者の方、あるいは一定の所得以下の方に関しましては就学援助という形になりますので、その時点で給食費は公費負担になっておりまして、実質無償化という形になっています。それ以外の方は給食費を払っていただくのですが、一律無償化にするということは、当然税金、いわゆる公金を充てるという形になります。税金は、当然いろいろな方に納めていただいて、苦しいながらも納めている方もいらっしゃれば、そうでない方もいらっしゃるかもしれません。その方たちの税金を、給食費を払っている方はいろいろな方色々な世帯がいらっしゃいます。高い収入の方もいらっしゃれば、苦しい方もいらっしゃるかと思います。一律というのは、なかなか今のところ、制度設計上難しいのかなとは思っております。

ちょうど今、先生もお調べになったように、給食費は一般会計が結構かかっています。その金額を言うと、実は給食提供のうちの約60%以上は既に公費負担という形で、光熱費と

か、人を雇ったりとか、施設を維持したりというので、既に公費負担なんですね。給食費は賄い材料費だけという形になりますので、その分は今、約2億4,000万から2億5,000万ぐらいになります。これを一般会計のほうで、税金のほうで見るとというのは、議員さんの中では当然そういうことを主張される方もいらっしゃると思いますので、これから議論は出てくるかもしれないんですけども、今後の動向というのは、はっきり言って市の政策を決める理事者の判断という部分もございます。ですので、今のところ、私の段階ではなかなか検討の余地があるのかな、いろいろ難しい余地があるのかなという時点での話になってしまうかもしれません。よろしくお願いいたします。

【黒田会長】 よろしいですか。どうぞ。

【七条委員】 今回答があったんですけども、生活困窮者は現段階では無償化されていると。ところが、実際に未納にされている方が何%かいらっしゃるわけですよね。先ほどどなたか御質問があったときに、どうして払っていないか、その理由はお調べになっていないということだったんですけども、そうなってくると、毎年出ていて思うだけけれども、やっぱり不公平感、きちんと納めている人は納めているし、その人がお金に困ってなくて納めていないんだとすれば、それはやっぱり変な話ですよね。ですから、さっきの理由を把握していないというのは、それはそれで——未納の理由をそちらが把握されていないとさっきお答えになりましたよね。それはそれで、ちょっとまた問題——ま、給食センターの少ない職員さんの数でそんなこともやれというのはなかなかあれかもしれないけれども、その辺どうなのかなと思って今聞いていたんですけども。

【黒田会長】 事務局で、何かございますか。

【事務局】 実際、私も、ここに来るちょっと前は収納課長で5年、係長で3年いました。当時、収納率はかなり問題になりましたが、最終的には市で収納率日本一まで行きました。ただ、そのときでも、未納の方は当然いらっしゃいます。その方が、生活困窮、財産なしとか、いろいろ理由はあるかと思うんですが、結局こちらからの文書やお電話での御連絡に対してもなしのつぶてというか、そういう文書を無視されている状態なので、実態調査とか、そこはできないです。給食費は、実態調査なんかはできないんですけども、給食センターじゃなくて税金ではできるはできるんですが、それでも連絡が取れなければ把握し切れないところもあって、理由を聞けばお待ちするとか、分割して納めていただくというお約束が取れるかもしれませんが、結局そういうこともできない状態が実際にあるのが事実です。なので、もし連絡が取れて御相談いただければお待ちすることもできますし、先ほど

言いましたように少しずつでも納めていただくということもできるかもしれないんですけども、なかなか皆さんに御連絡が取れるまで文書や電話を出し続けるのはこの人数では難しいかなと、現状では正直思っているところではございます。

【七条委員】 ありがとうございます。

【黒田会長】 ありがとうございます。

ほかに、ございますでしょうか。

承知いたしました。

事務局のほうで、何かありますか。

【事務局】 特段ございません。

【黒田会長】 それでは、議題4のその他につきましてもここで打ち切らせていただきたいと思えます。

それでは、今回が最後の会議ですので、各委員の皆さんから、御意見などを含めて順番に御挨拶をいただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

どういう順番で回りましょうか。じゃ……。

【匂坂委員】 副会長を務めさせていただきました第一小学校の匂坂です。ほんとに名ばかりの副会長で、ここに座っているだけだったんですけども、一応昨年度から引き続き務めさせていただきました、2年無事に務めることができましたことに何よりほっとしています。一小では、前回分の便りからウェブ形式にしまして、そのこともあつてか後任も無事決まりましたので、その件に関しましてもほっとしています。またいろいろな方たちに審議委員となっただいて、国立の給食にたくさん触れていただきたいなと思っています。ありがとうございます。(拍手)

【黒田会長】 それでは、反時計回りにお願いいたします。

【牛島委員】 牛島です。2014年に給食委員になりまして、もう8年になります。最初はワンポイントのつもりだったんですが、こんなに長い期間給食委員を務めました。後任は、うちの大学で小澤教授というのがおりまして、その教員に引き継ぐつもりにしております。私のように、農家にかなり密接な研究をわたしはしておったんですが、小澤教授はシステム経営学といって生産現場から最終的には流通、あるいは消費までの動向が御専門の先生なので、学校給食に関することにもいろいろな情報提供ができると思えます。今後ともよろしく願いしたいと思えます。

8年間なんですけれども、学校給食センターが今度PFI方式になるとか、あるいは食育

の問題とか、その辺について様々な議論がなされて、私も大変勉強になりましたし、いい方向づけになっているんじゃないかなと思います。低温殺菌牛乳をずっと国立市は飲み続けておりますし、2年前の給食費の値上げに伴って牛肉が復活するといった状況になりました。口蹄疫で一時的に中止になっておりましたけれども、それが復活するという期待を応援することができて、私としては大変満足しております。

今後、PFI方式というのが、ニュースだと失敗しているような状況なので、それを見守っていくというのは多分この委員会の意義だと思いますし、それが軌道に乗ったぐらいから学校給食の無償化にシフトすれば、民主的といいますか、大変食育を重視した委員会というのが継続していくんじゃないかなと思います。

8年もの長い間居座りまして、すみませんでした。どうもありがとうございました。(拍手)

【里道委員】 国立市の薬剤師会から来ています里道といいます。1年間ありがとうございました。感想というか、ちょっと思ったんですけども、課題のところに設備のこととかが書いてあるんですが、薬局の現状から関係したことで思うことがあります。今、薬もなんですけども、ウクライナ問題とか円安問題とかで、海外からのものが横浜港とかの港で船に乗ったまま置かれていて、こちらの手元に届かないということがあるようです。これから、食料に関しても、米飯が週3回ぐらいとか、あと予算のところもそういうことに触れていなかったんですけども、すごく物価が高騰してきて、給食の材料を購入するのにこれから先、今年は大変になるんじゃないかなと思います。給食センターの皆様も、そういうことも予測しながら、少し先を見ながらやっていかれるとよろしいかなと、課題でそういうところに触れていなかったの、ちょっと思いました。コロナ時代を生活していく方向に少し慣れてきたかなというところですけども、今年はその面で大変になるのではないかと思いますので、頑張ってください。以上です。(拍手)

【七条委員】 医師会の七条です。1年間お世話になりました。この2年、3年間、コロナで皆さん大変な思いをされていると思います。僕自身も、この会も何回か欠席させていただいたのは、やっぱりコロナの対応で欠席せざるを得ないような状況だったんですけども、コロナがいつまで続くのか、先がまだまだ見通せない状況だと思います。ただ、新しい給食センターが出来上がるのは2年後ですかね。

【事務局】 1年後です。

【七条委員】 運営審議会でもずっと給食センターのテーマについて話し合っていて、や

っと新しい給食センターが出来上がって本当によかったなと思います。

先ほど牛島先生が言ったように、PFI方式がどうなっていくのか、これも何年か前のときもけんけんがくがくとやったことがあって、6時ぐらいまで会議をしたことも思い出されるんですけども、PFI方式に決まったということで、給食センターが今度新しく稼働していただろうと思われま。今度はそこでアレルギー対応食もやっていただけるようになって、本当によかったなと、我々医師の立場からはそう思っています。

私は、次年度もまた担当させていただきますし、先ほど最後のほうに質問させていただいた給食費の無償化の問題とかも、テーマが外れるのであればそれはそれでまた別のところでやるのかもしれないんですけども、そういうことも含めて、くどいようですが、未納が未納だと必ず毎年最初のときにどうしたらいいかという話が出て、毎回毎回同じ話をして、毎回毎回同じような回答を聞いてというところ。なので、どうにかならないのかなと思っているので、しばらく私はまだ給食センターの運営審議会委員を医師会代表でずっと続けていくのであれば、そういうこともテーマとしてやっていけたらいいのかなと思っています。

いずれにせよ、この1年間本当にお世話になりました。そして、この給食センターの運営委員の方々って本当に皆さん熱心な方が多くて、年に6回も会議に集まっているところってほかの自治体ではないんじゃないかと思しますので、これはとても大事なことだと思いますので、ぜひぜひ今後も続けていっていただけたらなと思います。どうもありがとうございました。(拍手)

【小林委員】 三中の小林です。1年間ありがとうございました。私は、子供が3人とも国立市の給食を頂いて育って、一番上が中学3年生で、来年はお世話になれないだんと思っってちょっと残念ですけども、あと2人まだまだこれからいっぱいお世話になって、給食センターが新しくなった後も頂いていくと思います。

2年間、PTAのほうで給食委員をやって、物資納入委員会とか献立作成委員会とかに出席して、国立市の方々が一生懸命やってくださっているのをじかに見て、参加させてもらって、ありがたみを感じて、御縁があってこちらの審議会も今回参加させてもらいました。全部が初めてだったので、聞いているだけになってしまったんですけども、職員の方々の一生懸命なところと、あと保護者の方々が積極的な意見を交わされているのを見て、とても感謝の気持ちで、子供たちにも給食のよさを一生懸命普段の生活で会話しているんですが、ありがたいことなんだよというのを話して、献立表を見て每日一喜一憂しながら登校してい

ます。ありがとうございます。

1つだけ思ったのが、こうやって皆さん、大人の方々が一生懸命子供たちのために提供するものを考えて出しているのを、うちの一番下なんですけれども、ああ、今日もデザート食べられなかった、苦手な御飯を食べるのに時間がかかってしまって、今日も楽しみにしていたデザートが食べられなかったとがっかりして帰ってくるのが3番目なんですけれども多くて、すごく残念だなと思っています。栄養士さんが一生懸命考えて作ってくれている、皆さんが作ってくれているものを、楽しみに食べたいと思っているのに食べられなかったというのを聞いて、実際に提供している一番子供の近くにいる担任の教師の方々の認識度ってどんな感じなのかなど。給食を提供する上で、何かクラスによって食事のやり方、食事を全部食べないとデザートにありつけないとか、そういうルールがあるのか分からないんですけれども、一緒に食べている担任の教師の方々の意識って高いのか、それとも授業のほうで先生たちもいっぱいいっぱいだから、給食なんて給食センターから送られてきたものをばーっと子供たちに配って終わりになっているのか。そこら辺はどうなっているのかなど、給食委員になって、審議会に参加させてもらって、一番子供に接する場にいる大人はどんな意識を持って子供と一緒に食事をしているのか知りたいなど、ふと思いました。市として、そういう取組はしているんですかね。中学校とか小学校、特に小学校のほうだと思うんですけれども、中学生はもう食べて終わりになるかもしれないですが、小学生だとまだ幼い部分もあって、食事の取り方とか、個人差が大きいと思うんですけれども、教師の先生と何かやったりする機会ってあるんですかね。

【事務局】 正直言います、私たちのほうで各学校に、こういう給食の時間を取ってください、こういうやり方にしてくださいというお話はしてございません。給食の時間というのは各学校で決まっておりますので、学校の方針、あるいは学年の方針、担任の先生のやり方、いろいろ千差万別かと思うんですが、そこまで私たちが細かく指示とかをしているわけではないので、私のほうからはお答えはできません。もしかしたら、学校の先生とか給食委員の先生から一言あるかもしれないですが、私のほうからは難しいです。

【小林委員】 ありがとうございます。何か、ちょっとでもいいので、1年に1回でもいいので、先生たちも給食に意識が向くような機会があるといいのかなど、ふと思いました。ありがとうございました。(拍手)

【小野委員】 二中の小野です。1年間ありがとうございました。視察が中止になってしまいましたが、この給食センターの見学をさせていただいたときですとか、あとは1年間の

会議を通じてでもですけれども、センターの方々の熱意をいつも感じております。異物混入があってはならないとおっしゃいますが、やはり100%なしというのは人間のすることですからかなり困難であると思っておりますし、当たり前安全なものを作って、それが当たり前ではなくて、とても感謝すべきことなんだなということを強く感じました。自分の子供にも、それがちゃんと分かってほしいなというふうに考えております。どうもありがとうございました。(拍手)

【矢澤委員】 一中の矢澤です。昨年から引き続き、2年間委員を務めさせていただきました。この春から娘たちは高校生になって、給食をもう食べていないので、今はほぼ毎日お弁当作りをしており、給食を提供していただけることのありがたさをすごく身に染みて感じております。多分、提供していただけることだけでも感謝している保護者の方がいっぱいいるんだなというのは言わなくてもお分かりになるかなと思いますが、新給食センターになってもこれまでどおりの安心安全な給食が継続されることを願っています。

以上です。ありがとうございました。(拍手)

【矢田部委員】 声がこんな感じでごめんなさい。八小の矢田部です。よく子供が、ほぼ毎日、今日もお代わりじゃんけんしたよと言って、負けたら本当に悲しい顔で帰ってきて、それだけみんながお代わりしたいと思う給食なんだなと思って、親としてとても感謝しています。

今日が最後の給食審議会だということを子供が知っていて、伝えてほしいことがあると言って、どうか量を増やしてほしいと言われて、もちろんいろいろな理由があると思っておりますし、その子その子によって今が適量であったり、ちょっと多いなと感じる子もいます。うちの子供は足りないと言って、でもそれだけ本当においしいと言っているのも、1年間だけだったんですけれども、皆さんが安心安全でおいしい給食を作ってくださいというところがすごく分かって、やってよかったなと思います。また新しい給食センターができて、今よりもさらに安心安全でおいしい給食を作ってくれることを私も願っております。1年間ありがとうございました。(拍手)

【久保委員】 国立七小の久保です。今年も1年間ありがとうございました。

先ほどから牛島先生とか七条先生がおっしゃっているとおり、すごく長い間、いろいろな議題があるんですけれども、PFIだとか給食費の値上げというちょっと特殊な議題もあるんですが、ベースになっているのは、給食費の未納というのが毎回出てきたりということ。それがすごく多くて、それに対して私は、初年度は、センターの運営審議委員って何をする

んだらう、何の権限があってどこまで立ち入れるんだらう、どんなことが解決できるんだらう、自分の一言で何か変わるんだらうかって、いろいろなことを考えて、意見も出させていただいたり、ほかの方の御意見も伺ったりしていました。

その中で思うのは、結局毎回同じ、そして毎回解決策が出ないという縦割りの行政だったりと、それぞれの立場の限界ですよ。そこまでは立ち入れない、ここは誰がやると決まっている、そうなるもまた別のところを動かさなければいけないという。それに、すごく歯がゆいというか、一市民がこんなことを言うのはおかしいのかもしれないんですけども、何かを変えていったりとかってすごく大変なんだなと思うんですね。これだけの大人の方が集まって、年に6回とか、多いときで7回とか、それこそPFIがそもそもなくて自校式とかって意見から始まって、6時とかまでやっていた年度もあって、そうやって熱意のある大人たちが集まって1年、2年と重ねてきているのに、ある意味何も残せていないというか、そして来年度いらした方が、また初回からじゃないですか。右も左も分からないでやってきて、また給食費の話ですとかというふうになっていく。私は、それは、2年目はすごくもどかしい思いだったんですね。去年もその話があった、そしてその前からもその話があるというのは。何も本当に変わらなくて、自分の立場とか、ここに来ている意味って何だろうと考えることも多かったんですけども、ここに来て給食のことを一人一人が真剣に考えるという、それにも意味があることなんだと。何も変わらないかもしれないけれども、確実にそういう大人が一人一人集まって意見を寄せ合って、ちょっとずつみんなの意識に浸透していくということもすごく大切なことなんだなと思いました。

私は一応、保護者の皆様方の連絡係という形でセンターの方とやり取りする機会が多かったんですけども、グーグルドライブというものを今使っていて、ログインできる人もいればできない人もいたり、メールを受け取れたり受け取れなかったり、LINEでしてみたりという年もいろいろあったんですが、何とか少しでも残して、熱意のある皆様の、どこかの年度で何か変えられるようなものを残していけたらなとは考えております。

コロナもあって、何もできないと言ったらおかしいんですけども、何も変えられないこともあったんですが、少しでも写真とか資料とかでも残していついかならぬ、皆様方も今後、もし来年度引き続きなさるとい方がいたら、写真を撮ったりですとか、視察に行ったときとか、いろいろな資料ですとか、こういうことを考えていたということを残していただいて、提供していただけたらとてもありがたいなと思います。

いずれにしても、私は何もできなかったもので、非常に申し訳ない気持ちではいるんですけど

れども、毎日毎日子供たちが元気に学校へ行ってきて、今日はこういう給食を食べたという、学校の生活の中に国立市の給食は入っていて、無事に大きくなっていっているのは、本当に給食センターの皆さんだったり国立市の教育委員会の人だったり、税金を納めてくださっている方たちだと思っています。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。(拍手)

【播磨委員】 六小の播磨です。1年間ありがとうございました。私も初めての1年だったんですけども、視察の見学に行けなかったときに、こちらでいろいろお話を聞いたり見学をさせていただいたときに感じたのが、当たり前子供たちが食べていた給食の裏では、職員の皆さんがこんなに苦勞をされていたんだな、この現状をほかの保護者が知らないというのが本当にちょっと苦しいなというのをすごく感じましたね。コロナ禍で、なかなか見学をしたり試食ができない学校が多かったと思うんですけども、今年はちょっとずつ落ち着いては来ているので、積極的に学校も見学を——ここは最後のセンターになると思うので、老朽化も進んでいる中ですごく大変な思いをして給食を作っているというのを子供たちにも分かってもらって、できたら各学校の保護者にも見学をしてもらって、こういうことがあって次の新センターがあるというのを皆さんで感じて、そういうのを私たちがもうちょっと伝えていくべきだったなというのを、私もすごく反省をしています。そこがきちんとできなかったなというのは感じているので、次の審議委員さんの引継ぎではこういうことをしたらどうかなというのをいろいろ伝えながら、もう少し保護者も一緒になって給食を食べるまでの大変さを皆さんで感じながらやっていると、未納額も、本当に払えない家庭もあると思いますし、いろいろな事情があると思うんですが、ちょっとずつ減っていくといいなというのをすごく感じました。1年間ありがとうございました。(拍手)

【村上委員】 五小の村上です。私は今年が3年目だったんですけども、この1年間、給食センター委員で過ごした日々はすごく早かったです。久保さんと一緒にやってきて、私も初年度は未納のことをすごくここで質問したりとかして、視察も別の給食センターに行かせてもらったりとか学ぶこともたくさんあって、今まで給食費を上げるとか、A案かB案かとか、本当にいろいろ経験させてもらいました。私の中では、あんまり自分の発言が何かに影響したとかはできなかったんじゃないかなと、同じふうに無力さを感じることもありますが、だったら絶対新しいセンターを見たいという思いが今私にはあって、今年続けるかどうかというところを、やっぱり続けようと思って、来年もやらせていただくことになりました。よろしくお願ひします。

3年やって思うのは、国立市の給食を作っている人たちの職場がとてもいい環境なんだなということは感じます。いつも辞める人が少ないとおっしゃっていて、私は自分のパートで老人ホームの調理をしているんですけども、私が勤めている調理場所も辞める人が少ないんですね。すごい団結力で調理をしています。先ほどのみそ汁の破片のこともすごくよく分かって、私が働いている職場では、切り落とした切れ端をちゃんと確認しなければいけないというルールがやっぱりあるんですけども、うっかりして切れ端がどこかに行ってしまったときはもう一生懸命ごみ箱から探したりとか、中に入ってしまったかとか、すごく気を遣うんですね。なので、そういうことがすごく分かるし、本当にいい方たちが作っているということだけはすごくこの3年間で分かったことなので、4年目もそういう人たちに支えられて給食が作られるということは本当に感謝だなというふうに思います。

最後に、私も息子が1年生なんですけれども、給食が学校に行くモチベーションに本当になっていて、毎日メニューを見て、あしたは何だ、これだとか言って、楽しみだと言っています。無力な部分もあつたりもしますけれども、でも給食が与えるエネルギーは子供に伝わっているんじゃないかなと思います。これからも、おいしい給食を楽しみにしています。ありがとうございます。(拍手)

【吉野委員】 四小の吉野です。1年間ありがとうございました。

私ごとなんですけれども、私は民間の企業でリスクマネジメントの仕事をしておりまして、限られたリソースの中で課題に優先順位をつけて対応していくということを日々やっておりますので、民間企業と同じように公的な機関でも毎年積み残してしまうような課題であるんだと、皆さん努力されて対応されているんだなということがとても勉強になりました。ありがとうございます。

一方で、給食センターが新しくできるということで、物理的なリスクですとか技術的なリスクが解消されることってすごくあると思いますし、ほかの皆さんもおっしゃっているように、給食審議会の方々とセンターの方々を含めてすごく組織的にはいい体制というか、情熱を持って、熱意を持ってやられているというのがとても心強くてありがたいなと感じた1年間でした。ありがとうございました。(拍手)

【中井委員】 三小の中井です。今回、審議委員会をやらせていただきましてまず思ったのが、放射能の検査をすごく厳しい基準でやっていただいているということが特に印象に残っておりまして、国よりも厳しい基準で制限してくれているということで、かなり安心したという1年であります。

私自身が、大体20年ぐらい前に三中のほうに通っておりまして、実際に給食を頂いていたんですけれども、これは個人の感想なんですけど、私自身はそのとき、あまりおいしくないと思うときがたまにありました。でも、去年1年生で娘が入学して献立を見たときに、すごくバラエティに富んだ内容になっていて、記憶も曖昧なんですけれども20年前とは大分違うなと思って、かなりうれしく思いました。娘もすごく楽しみにしていますし、特別なイベントみたいなものもできているし、この20年で、1年1年の積み重ねで本当にいい食育の献立になっているんだなというのを実感しております。

また新しいセンターにもなりますし、このまま安心安全な給食を続けていただければと思います。ありがとうございました。(拍手)

【後藤委員】 二小の後藤です。私も国立の二小と二中出身で、給食センターの給食を食べてきたので、親子でお世話になっている給食について少しでも知ることができてよかったですなと思っています。

新しい給食センターでの給食もとても楽しみなので、試食会とかがあれば参加させていただきたいと思います。1年間ありがとうございました。(拍手)

【秋山委員】 一小の秋山です。私も、国立に来て、今年になってこのような会があるということを知りました。保護者の方が、お子さんがどんな給食を食べているか関心をお持ちになって、このような会が開かれているんだなと思いました。また、給食センターのほうでも、残留農薬のことですとか異物混入のことなども、いろいろなことで安心安全な給食を提供していただいているんだなということを知りました。

先ほどの小林さんの御質問なんですけれども、やはり担任の先生にある程度任されておりまして、配膳の仕方もお代わりのルールなども、本当に先生によって大分違います。私は専科なので、時々先生がお休みしたときなどに給食指導に入るんですけれども、ルールがすごく違うんだなというのをそのときに実感して、また低学年と高学年もお代わりの仕方がすごく違って、高学年になると、やっぱり女の子は遠慮しているのかなという感じはします。いかにも食べそうな男の子が、本当に大盛りにお代わりをしてという感じです。

先ほど、給食が少なくてということもあったので、時間が足りなくて食べきれないということはないのかななんて私も思うんですけれども、皆さんが御心配なことがないように、私も本日帰りましたら、そのようなお話もありましたのでということで周知したいと思います。1年間どうもありがとうございました。(拍手)

【河合委員】 二中の教員の河合です。本日まで、1年間ありがとうございました。当た

り前のように毎日出てくる給食を生徒と食べていたんですけれども、この会に出席して、大変な思いでいろいろやられているんだなという内情を知って、本当に勉強になりました。ありがとうございました。

子供たちは、本当に給食を楽しみにしています。一番学校で楽しみにしているんじゃないかなって、私は給食委員会とかをやっていると思っていて、ある担任は毎日給食の献立のイラストを描いて黒板に貼っているんですね。それぐらい教員も生徒たちも楽しみにしていますので、これからも子供たちがわくわくするような給食をまた作っていただけたらと思います。本当にありがとうございました。(拍手)

【黒田会長】 皆様、ありがとうございました。私のほうから、最後に一言御挨拶をさせていただきますと思います。

令和3年度、校長会の担当ということで1年間皆様と御一緒させていただき、審議会のほうに参加をさせていただきました。6回の審議会を無事終えることができたのも、皆様方の御協力のおかげと感謝をしております。ありがとうございました。

一言感想を述べさせていただきますと、給食は、子供たちは今黙食3年目に入っています。この状況の中で、静かに黙って御飯を食べて、食べ終わったらマスクをして、そして黙って片づけをしてという形で、貴重と言えれば貴重ですが、楽しむことのできない時間を過ごしています。

また、学校での給食は、時には食育だと言われ、時には特別活動の一環として言われ、全てにおいてその時々でいつも教育活動と、「教育」ということをすごく結びつけられて、いろいろな方面からいろいろな御指摘をいただきながら、給食のあるべき姿ってどうなのかな、そんなことを突きつけられながら30分、40分の給食の時間を過ごしているというのが学校現場の実際のところではないのかなと思います。食べることって本当はもっと楽しいことであり、楽しむことであってほしいと思うんですけれども、先ほどお話がありましたように、給食の時間も全て教育活動に結びつけられますから、例えば時間の問題だったり、あるいは栄養をちゃんと満遍なく取るようにという指導を求められたり、「食べる」ということを常に指導として学校に求められているのではないかと思います。まだまだ黙食がどのくらい続くのか分からないんですけれども、1年間過ごした私としては、せめて見た目だけでも楽しめるような給食を作っていただけたらありがたいと思っております。

6回の審議会のうち、1回コロナの関係で視察をすることができませんでした。いよいよ国立市も来年、新しいセンターができて、新たな給食の歴史が始まるんじゃないかと思いま

すけれども、その一つのモデルを見ることができるチャンスがなかったのは残念だったな
と思っています。ぜひ、委員を継続される方も、またここで委員を終わられる皆さんも、経
験をされた方のお一人として、国立の給食センターの新しい姿、またその様子を共に見つめ
ながら、いろいろな意見を出し合って、子供たちにとってよりよい学校給食が発展できるよ
うになっていけばいいなと願っております。1年間、本当にありがとうございました。以上
でございます。(拍手)

本日の議題は、全て終了いたしました。

これで、第6回学校給食センター運営審議会を終了いたします。1年間、大変お疲れさま
でございました。ありがとうございました。

— 了 —